

くものうえのおねえさん

マイちゃん
ジュンちゃん



タカ・イイツカ

くもの上には、
お姉さんたちが住んでいて、
ひとびとがしあわせになれるように
べんきょうするがっこうがあるのだった。





ここは、くものうえの
がっこう。

せんせいが、

みんなをあつめて

しゅくだいをだした。

くものしたにおりて

ひとがだいじにしている

ものをさがしなさいと。



せんせいのそばにいるの
が、ジュンちゃん。

かみのけがみじかいほう
が、マイちゃん。

がっこうのスクーターを
かりて、いったことのない
くものしたのせかいに
ゆくことになった。



ふたりがのったスクーターは、フワフワ、フワフワ。くものうえをすすんでいった。

やがておひさまがしずんで、おつきさまがかおをだした。スクーターはゆっくり、ゆっくりとまちのあかりにむかっておりてゆく。そしておひさまがかおをだした。



スクーターがじめんにつくと、エンジンがかかった。うしろのジュンちゃんが、「あれ、エンジンかかった」うんてんしているマイちゃんかスクーターにきいてみる。

「あなたいきでるの？」

ピツとクラクションがなった。



ジュンちゃんが、シート
のうしろをなでながら
「ベスパ98だからキュー
ちゃんだね」
ピッ。
クラクションになった。
ふたりははじめてうみを
みた。やさしくふくしおか
ぜをきもちよくかんじなが
ら、うみのけしきをたのし
んだ。



くものうえで、せんせいにアキさんのおうちにいくようにいわれていたので、『ひとがだいじにしているものがどこにあるのか、ふたりはアキさんにきいて見ることにした。ジュンちゃんにはメモちょうをだして「アキさん、ひとがだいじにしているものはどこにあるの？」



むかいにすわっていたア
キさん

「こどもたちにあってごら
ん。きつとなにかみつか
るはずだ」そういと、アキ
さんはゆかにねそべって
キューちゃんにわるいとこ
ろがないか、いろんなとこ
ろをうごかしてみた。
「よし」



「アキさん、どうもありがとう」
「ありがとうございまして」
「おれいするふたり。
ピッ。キューちゃんもおれ
いした。マイちゃんはキュー
ちゃんのハンドルのまんな
かをなでて、

「よくできました」

ニコッとわらったアキさ
んは「らいしゅうがっこう
にいくからせんせいによろ
しく」



ふたりはちかくのしょう
がっこうにいったみた。
こうていでこどもたちがあ
そんでいる。

ひとりのおとこのこが、
マイちゃんとジュンちゃん
をみつけて

「あー、てんしだー！」と
おおきなこえをだし、りよ
うてをひろげてマイちゃん
にむかってきた。



それをみたふたりのおんなのこたちもいっしょにやってきた。りょうてをひろげたマイちゃんに、おとこのこがだきついてうれしそうにわらった。

おんなのこふたりは、ジュンちゃんのつばさをなでて「わあ〜てんしだ」と。

まもなくチャイムになり、こどもたちはてをふってこうしやにはいっていった。



しょうがつこうをあとにし
たふたり。うしろにすわった
ジュンちゃん

「マイちゃん、だいじなもの、
あったね」

うんてんしているマイちゃん
「うれしい。たのしい。あつ、
ぬくもりかなあ」

ジュンちゃんは少し考えて
「こころのぬくもりかなあ」

「だいじだね」



ちゅうがつここのまえて、
ジュンちゃんが『だいすき』
というつよいきもちをかんじ
とった。
「マイちゃん、とめて」
マイちゃんはキューちゃんを
みちのはしにとめて
「ジュンちゃん、どうしたの」
『だいすき』をかんじるの」
こうもんからおとこのこが
でてきた。



ジュンちゃんが、おとこのこにこえをかける。

「こんにちは」

おとこのこはおどろいて

「えっ、てんし?」

ジュンちゃんは、おとこのこのかたにてをのせて、

「てんしだよ。ひとがだいじにしているものをさがしにきたの」そこに『だいき』がいつぱいになったおんなのこがとおりかかる。

マイちゃんがおんなのこにこえをかける。「こんにちは」



「あなたのだいじなもの、
わかるよ」おんなのこのせ
なかにてをやり、すこしま
えでジュンちゃんとおはな
ししているおとこのこに、
おんなのこのかたがそつと
ふれた。『だいすき』がふた
りのかたにつたわった。
おとこのことおんなのこ
は、そのままくつついたり、
はなれたりしながらあるい
ていった。



マイちゃんとジュンちゃん。すこしはしつたところで、さっきであつたふたりをみつけた。キューちゃんをとめてふたりがとおります。ぎるのをみおくつた。

りようにでかおをおおっているジュンちゃん

「かわいい。『だいすき』ってすてき」ジュンちゃんのかたをマイちゃんがポンとたたき、「『だいすき』は、だいじだね」



えきのちかくをとおると、
どうろのうえをでんしゃが
とおった。うしろのジュン
ちゃんが、「でんしゃってお
おきいんだね」まえをみて
いるマイちゃん「おともお
おきかったね。ジュンちゃ
ん、あっちからおんなのこ
たちがあるいてくるよ。な
にがあるんだろう」くびを
のばしてまえをみるジュン
ちゃん「マイちゃん、いつ
てみよう」



ふたりはだいがくにはいつていくと、すぐにながくせいたちにかこまれた。

マイちゃんとジュンちゃんは、ながくせいたちといろいろとはなしてみた。

さっきのちゅうながくせいとは『だいき』のかんじかたが、すこしちがうとわかった。キューちゃんにまたがったマイちゃん

「おしやれはだいきかなあ」
うしろにのったジュンちゃん
「ここではだいきみたいだよ」



ひろいどうろをしばらく
はしっていると、ながいさ
かみちになった。エンジン
がちいさいキューちゃんは、
まわりのくるまとおなじス
ピードがだせない。

マイちゃんはスピードを
おとして「キューちゃん、
すこしやすもうか」

ピッ

たかだいにひろばがあるの
をみつけ、きゅうけいする
ことにした。



ひろばでは、おんなのこ
ふたりと、すこしちいさな
おとこのこがあそんでいた。
いちばんせのたかいおんな
のこがマイちゃんのところ
へきて

「おねえさんたち、てんし？
マイちゃんは、おんなのこ
のてをとる。」

「そうだよ。おともだちに
なってくれる？」

おんなのこはニコッとわ
らってマイちゃんにもたれ
かかった。



おとこのこは、ジュンちゃん
のてをとり、かたにまわし、
モジモジしていたおんなのこ
もマイちゃんにギュッとされ
て『だいじなもの』のおはな
しをしていた。

やがてうすぐらくなり、こ
どもたちはおうちにかえるじ
かんになる。おとこのこが
ジュンちゃんのかおをみあげ
て。

「あしたもここにいる？」

「あしたはくものうえよ」
こどもたちはなきだした。



マイちゃん、ジュンちゃん、
ふたりもくものうえにかえら
なければならぬ。

オレンジいろのおそらをみ
つめたジュンちゃん

「マイちゃん、なみだはだい
じだね」マイちゃんは、だまっ
てうなずいた。

なきだしてしまいそうな

ジュンちゃん

「マイちゃん、さみしいは、
だいじかなあ」

マイちゃんのなみだがかぜ
にとばされてジュンちゃんの



ほっぺにあたった。

ひろいどうろにでた。

マイちゃんとジュンちゃん
はあたまをひくくしてキュー
ちゃんはスピードをあげてゆ
く。

ピッ

クラクションをならして、
キューちゃんがとびたった。



ふたりがくものうえにか
えってきてからなんにちかあ
と、マイちゃんとジュンちゃ
んは、キューちゃんのちょう
しをみにがっこうにきていた
アキさんにあいにいった。
マイちゃんは「アキさん、
ほんとうにありがとう。ジュ
ンちゃんも「アキさんのおか
げだよ」
アキさんはニヤツとわらっ
て「だいじなものを見つけ
みたいだね」



ひろばでジュンちゃんに
だきついてないてしまった
おとこのこは、ジュンちゃ
んのせなかにのっておそら
をとんでいるゆめをみた。

めがさめると、またない
てしまった。

おしまい。



マイちゃんとジュンちゃんのお
はなしは、おもしろかったかな。
ふたりがみつけただいじなもの
のほかにもだいじなものはたくさ
んあるよね。

あなたたちのそばにも、
だいじなものがあるはず。

さあ、さがしてみよう。

2026年1月2日

タカ・イイヅカ



くものうえのおねえさん
マイちゃん
ジュンちゃん

∩ Taka Iizuka